

編輯室の内外

△櫻も笑を見せやうとするとき、帝都は珍らしい大雪に見舞はれて陽春四月の氣分も何處へやら飛んでしまつた。恰度七八兩年度の時局匡救事業で息を吹き返さうとした農村が、九年度事業費の縮少に遭つて元の獸阿彌と爲つたのと同じだ、併し陽春の氣候は年内に再び来る、農村の救済は再びと来ない、世無情と言ふよりも人無情と言ふべし焉だ。

△其の縮少された豫算を不公平の無いやうに地方に分配せよと、役目附けられたのが本會と親類筋、否や本家の内務省道路課、課長の武井さんが眼鏡の縁を弄つて配當標準を考へてゐる、無茶苦茶を言ふ路政僧でも眞面目に考へてゐる、其處へ議會から電話が来る、矢張り關西の代議士でも東北へは特別に配當してやれと、豫算總會で演説したから其の續りで配當標準を定めて呉れと言つてくる、彼は昨日河川課長の松村さんの處へ自分の選舉地盤の河川補助を頼み

に來た想だのに、議會では大きなことを言ひやがる、一つ削つて涼しい顔をして居やうぢやないか、イヤ此場合感情は禁物ぢやと、路政僧を叱つてゐる、時に夜の十二時半。

△そこで理屈を言つてゐるよりは、各地方々々の事情を聞いたたり議會の空氣を搜つたりして暫時決定を見合すことゝ爲つた、事業費を基礎に配當してゐるのに、頭の良すぎる主任官に爲ると、補助歩合の良い町村事業費を減らして歩合の悪い府縣事業に多く配當して呉れ、などと言ふもある、人の悪い路政僧はオイ事業費の勘定ぢやない縣の懐具合を考へて物を言はなければ、歸郷後知事サンに叱られるぞと注意する、斯様な調子で日を送つたが、遂に確定して地方に通知された筈だ。

△八年度と同じやうに府縣と町村事業とは道路河川港灣互に流用が許されてゐる、道路の改良「誌」ぢやからと言つて河川や港灣の費用を道路に流用しなさいとケチなこと

を言はないが、地方の希望する工事を助成するのが此事業起工の趣旨だから、此道路此河川と指定するのは政府の御趣旨に反する譯だ、地方の事情を斟酌して勝手に流用し昔の言葉で言ふなら民が喜ぶ様に施政するのが肝要だ。

△月日の經つのは早いもので又候新年度の本會事業を決定することになつた、今から言へば去年は道路大會計畫をして人氣を集めたが、何か面白い事業があつたら教へて下さい。

定價一部 五十錢
一ケ年分 金六圓

東京市麴町區外櫻田町一番地内務省内
發行所 社團 道路改良會
東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六
發行兼 編輯者 小島 效
東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武